

小開口用ケーブル壁貫通部防火措置材

タフロックニジカン壁丸

**認 定 書**

国土交通大臣認定番号

P S 0 6 0 W L - 9 0 6 8

認定をした構造方法又は建築材料の名称

水酸化アルミニウム充填／被覆電線／壁

 **ネグロス電工株式会社**

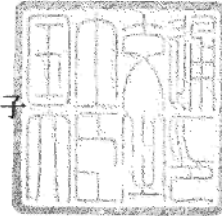
技 術 部

## 認 定 書

国住指第 4074 号  
平成 14 年 5 月 30 日

古河電気工業(株)  
代表取締役社長 古河 潤之助 様  
(株)古河テクノマテリアル  
代表取締役社長 高田 誠之 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 60 分遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

### 記

1. 認定番号  
PS060WL-9068
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
水酸化アルミニウム充填／被覆電線／壁
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

別添

## 1. 構造名

水酸化アルミニウム充填／被覆電線／壁

## 2. 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
開口部	φ160mm 以下
占積率 (開口面積に対する断面 積の総合計の割合)	20.7%以下
貫通する壁の構造等	鉄筋コンクリート 厚さ100mm以上の壁

## 3. 申請仕様の構成材料(別紙参照)

## 2. 適用範囲

本工法は、建築物の防火区画を構成する壁を電線・ケーブルが貫通する場合、当該部分に於いて耐熱シール材、押さえ金具を用いて防火措置を行うものである。

開口部径	貫通ケーブル
φ55mm以下 ボイド管の呼び径：50	最大600V CV 3C 38mm <sup>2</sup> (ケーブル断面積：491mm <sup>2</sup> )
φ80mm以下 ボイド管の呼び径：75	最大600V CV 3C 60mm <sup>2</sup> (ケーブル断面積：755mm <sup>2</sup> )
φ110mm以下 ボイド管の呼び径：100	最大600V CV 3C 150mm <sup>2</sup> (ケーブル断面積：1662mm <sup>2</sup> )
φ135mm以下 ボイド管の呼び径：125	最大600V CV 3C 200mm <sup>2</sup> (ケーブル断面積：2290mm <sup>2</sup> )
φ160mm以下 ボイド管の呼び径：150	最大600V CV 3C 250mm <sup>2</sup> (ケーブル断面積：2734mm <sup>2</sup> )

## 3. 施工仕様

- (1) ケーブルの貫通する部分に壁の打設時にボイド管を用いて所定の開口部を確保する。尚、既設壁の場合は、コアドリル等により開口部を確保する。
- (2) ケーブルを配線する。ケーブルの支持・固定は壁の両側とも十分に行うこと。
- (3) 開口部周辺及び貫通ケーブルを清拭する。
- (4) 押さえ金具をあてがい、ネジ孔部分に径3.4mmのドリルを用いて固定ネジの下孔を開ける。
- (5) 耐熱シール材（ダンシールP）を開口部の縁から10mm程度壁面に重なるように巻き付ける。
- (6) 耐熱シール材を覆うように2枚の押さえ金具を合わせる。
- (7) (4)の下孔に押さえ金具のネジ孔を合わせて、固定ネジ（M4）で壁に堅固に固定する。
- (8) 反対側も同様に耐熱シール材・押さえ金具を取り付ける。

3. 申請仕様の概要

(別記)

1. 使用材料

a. 耐熱シール材

商 品 名 製 造 者	ダンシール-P 株式会社 古河テクノマテリアル
主要構成材料 (重量比%)	材料組成は社外秘とさせていただきます
有機質バインダー 無機充填材及び難燃材 補強繊維 その他	

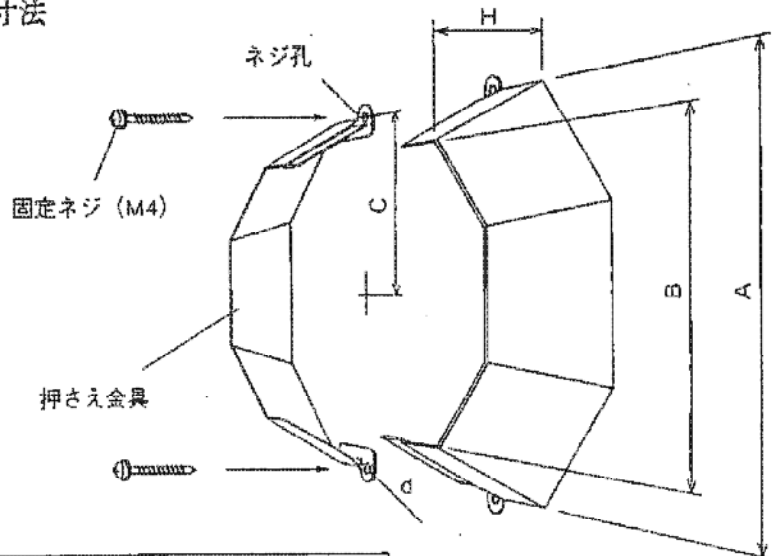
特性項目	特性値	試験条件
比重	1.8~2.1	JIS K 7201 JIS A 5752 JIS A 5752 JIS A 5752 JIS K 2220 PE、XLPE、PVC等
酸素指数	60以上	
軟度	60~100	
加熱減量	1%以下	
作業性	良	
耐腐食性	良	
ポリアスチック への影響	なし	

b. 押さえ金具

鋼板成形加工品

JIS G 3302 「溶融亜鉛めっき鋼板」またはこれに準ずる防錆処理を施した鋼板で、板厚1.0mm以上とする。

構造及び各部寸法

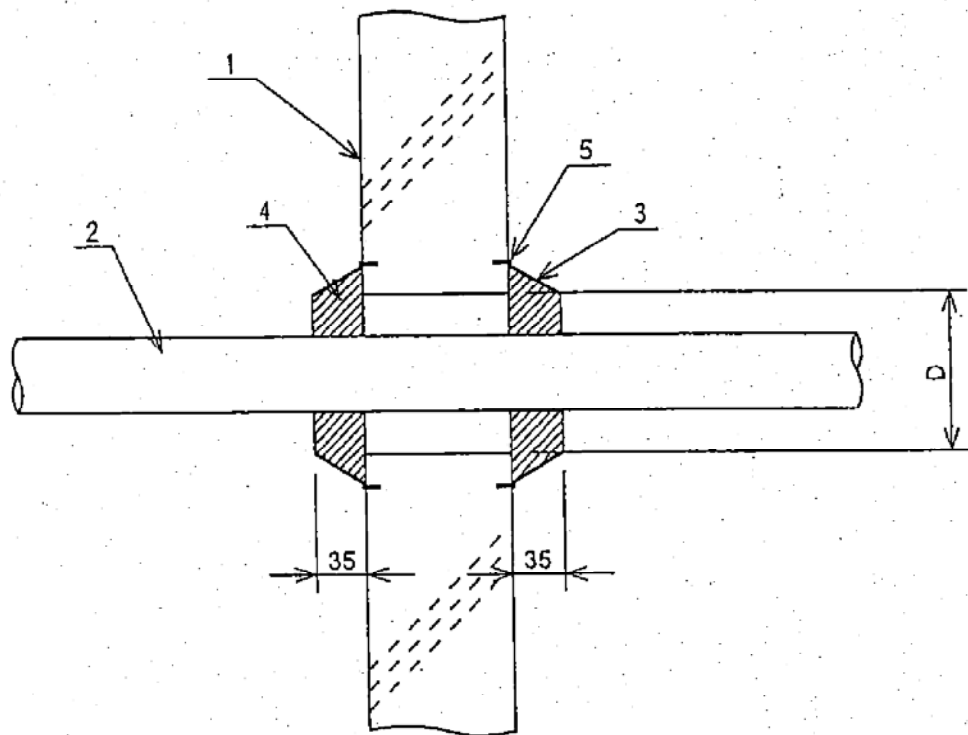


適合開口径	ボイド管の場合 呼び径	各部寸法				
		A	B	C	H	d
55	50	90	55	48		
60	75	115	78	59		
110	100	143	106	74	35	5
135	125	169	132	86		
160	150	193	156	98		

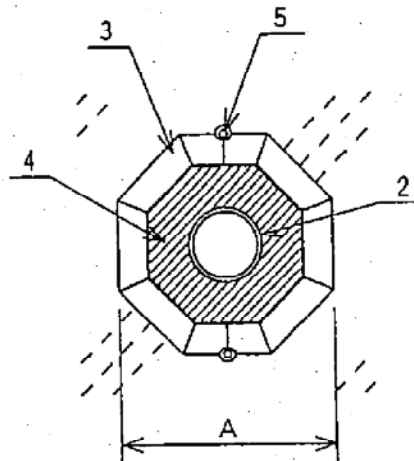
単位：mm

図1 押さえ金具

## 4. 構造説明図



断面図



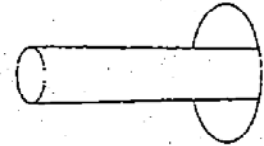
(単位:mm)

D寸法	A寸法
55	90
80	115
110	143
135	169
160	193

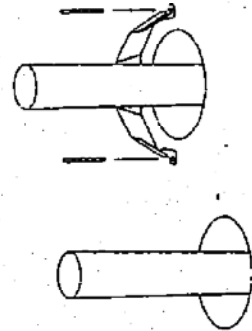
5	固定ネジ (M4)
4	耐熱シール材 (ダンシール-P)
3	押さえ金具 (板厚 1.0 ミリ以上)
2	ケーブル
1	壁

## 5. 施工方法

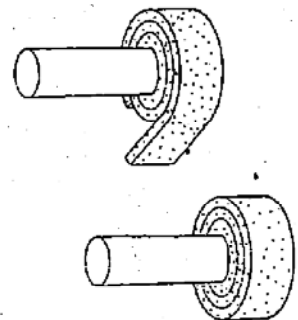
- ①開口部にケーブルを貫通配線する。  
ケーブルの支持・固定は十分に行うこと。



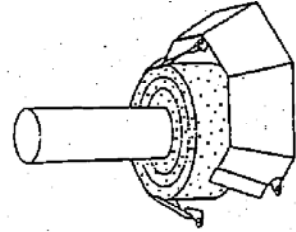
- ②押さえ金具(片側)をあてがい、  
径3.4ミリのドリルを用いて下孔を開ける。



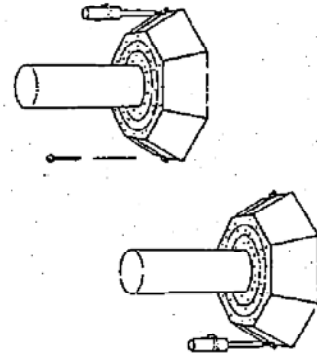
- ③ダンシール-Pを開口部の縁から  
10 mm程度壁面に重なるように巻き付ける



- ④ダンシール-Pを覆うように押さえ金具を  
合わせる。



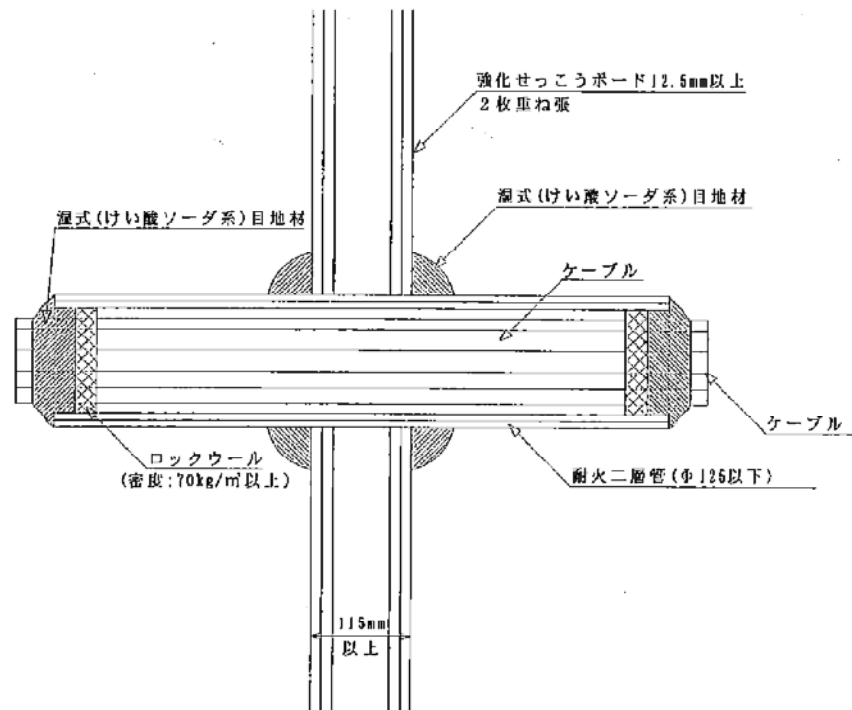
- ⑤手順2の下孔と押さえ金具のネジ孔を  
合わせ、M4の固定ネジで壁に堅固に  
固定する。  
壁の反対側にも同様にダンシール-P、  
押さえ金具を取り付ける。



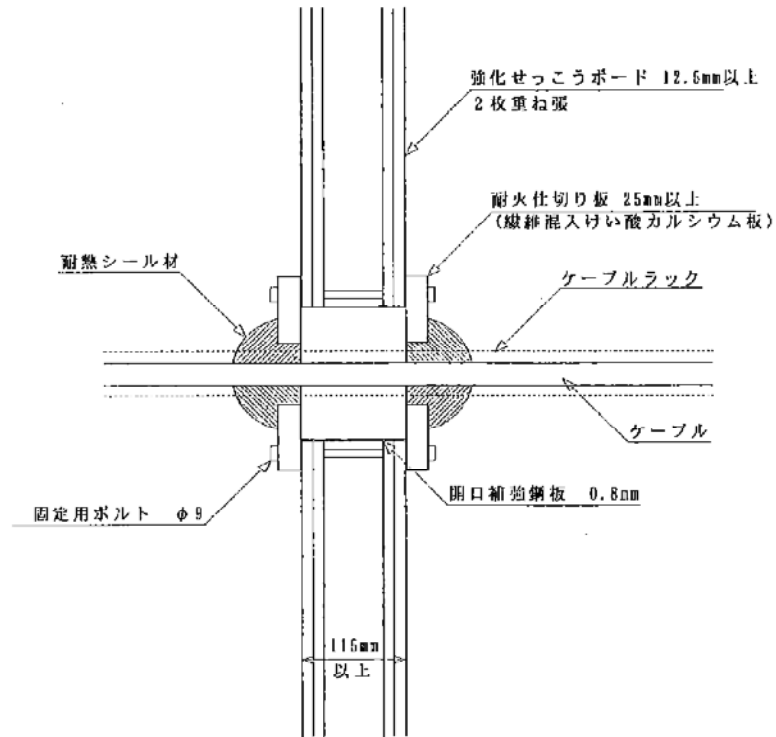


## 6. 留意事項

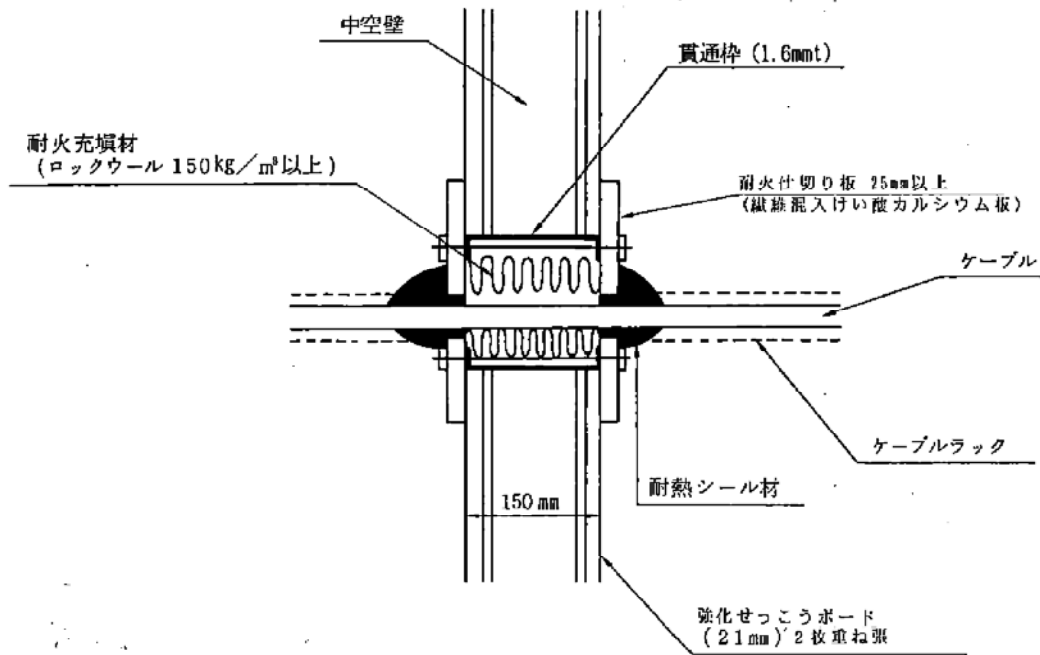
本認定は、原則として中空壁を貫通する管を対象とするものではない。ただし、次の仕様で中空壁を貫通する管については、既に試験等で性能が確認されているため、認定の適用範囲とすることができる。



ケーブル配線(耐火二層管挿入)の防火区画(中空壁)貫通部措置:



ケーブル配線（ケーブルラック）の防火区画（中空壁）貫通部措置



ケーブル配線の防火区画（中空壁）貫通部防火措置工法